

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 同 伸 会	代表者	岩 淵 惣二	法人・ 事業所 の特徴	「すべては地域のために」を理念とし、地域の在宅生活の充実を図るため、本体の特養ホーム等をはじめ、地域にサテライトデイ、小規模多機能サービス等市内東側エリアを中心に展開している。地域とともに「開かれた求められる事業所」を理念に掲げ、運営している。
事業所名	小規模多機能ホーム おりあい	管理者	森越 和幸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	4人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	8人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	P D C A サイクルの実践をさらに加速させ、利用者サービス向上に努め、各職員が受け持つ利用者様との関りの中から、「気づき」の記録と検討、実践までをプラン評価とプラン更新時期に連動させて実践させていきます。	「気づき」を記録し、検討、実践までの取組みが少なかった。利用者様との直接的な関わりの中で「気づき」となるような事柄を引き出せるかが肝心であり、意識した関りが出来ていなかった事が大きな要因でした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所自己評価には全ての職員が関わっていることがわかりました。</li> <li>・事業所評価の話し合い、記録や編集作業が膨大になることで、利用者さんのケアが疎かになることが心配です。</li> </ul>	事業所自己評価の実践を通して、個別評価の取組みから事業所評価作成までのプロセスをより具現化し説明を行っていきます。職員の個別評価から話し合いによる評価作成までの実践経過について、より透明性を高めて行きたいと思います。
B. 事業所のしつらえ・環境	開設しておよそ 14 年が経過し、建物の経年劣化が目立つようになってきました。また送迎車や入浴で使用するリフトの買い替えも検討している所であり、利用者様のご不便に繋がらないようにスムーズに導入ができるように計画をしていきます。	居心地の良い環境を整える為、継続して環境美化に取り組んでいます。具体的な内容としては、屋外の環境整備（花壇や草刈り）と屋内の清潔保持に取り組んでいる状況です。また、機械浴の購入については、機械本体だけでなく土台の基礎工事等を含め高額になることが予想される為、現在は要検討中です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議で訪れた時しかわからないが、不快な臭いや音を感じたことはありません。</li> <li>・毎日のお掃除が大変かと思いますが、建物内は綺麗にしていると感じます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援場面、住環境にて、居心地が良いと思ってもらえるよう、定期的な清掃や安心してもらえるような配慮（物品管理、人的関り方法等）清潔、丁寧な環境を整えていきます。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	地域に事業所の存在を知って頂くための活動として、回覧板への資料差し込みや引き続き、SNS による広報活動の計画を進めていきます。	地域との関わりとして、現在行っているイベントや集まりへの参加だけでは不足がある状況です。前年度の計画に掲げていた、SNS の活用について、法人全体として足並みを揃えて実行していく為、まだ実現には至っていません。事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍以降の地域のイベントは減りました。なかなか集まる機会を作るのはまだ難しいと感じています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々に小規模多機能型居宅介護を知ってもらえるよう、商店街へのパンフレット配布や回覧板での周知活動を行っていきます。</li> </ul>

		業所の近隣住民との関りを再度見直していく為の行動計画策定の必要性を感じている状況です。		
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	引き続き、地域の商店や理髪店の利用を行いつつ、適宜情報共有を図っていきます。また、お一人暮らしであっても必要に応じて、買い物や生活上の手続き代行ができるような体制を整えていきます。	相談を待っているだけではなく、事業所から行動を起こすことを意識して行動しておりましたが、思うような人員を確保することができず、計画倒れしてしまうことも多かったです。今後、実現可能な計画に沿って行動していき、年度途中で修正していく事で代替案を決めていきます。	・地域住民の高齢化が深刻化している為、なかなか情報が集まりづらくなっています。おりあいをご利用されていない方であっても、介護に関する事はまず相談が鉄則だと思いました。	様々な世帯構成になっている現状があります。可能な限り、地域での暮らしを意識して関われる繋ぎ支援（事業所から近隣住民の皆様への声掛け、民生委員等への情報共有）を図っていくようにしていきます。
E. 運営推進会議を活かした取組み	コロナ禍の影響により、運営推進会議の実施が資料配布のみとなっています。今後の感染状況を見ながら、会議参集をしておの運営が実現できるように計画をしていくこと、参集できない場合においても、当事業所の活動状況が伝わりやすいよう SNS の活用も視野に入れより効果的な働きかけを実施していきます。	委員の皆様を通して、地域の方々に発信できるような体制見直しや行動を起こす事ができるよう次回に向けての行動計画を策定していきます。まずは、運営推進会議における内容の充実や事業所を知ってもらう為のアクションを起こしていきます。	・今年度より会議参集になり、徐々にコロナ禍以前の状態に戻りつつあるのを感じています。事業所の職員さんの苦労も再認識できる機会となり、また地域との関わりを模索していることも垣間見る事ができました。	・小規模多機能型居宅介護での支援事例や、地域における介護課題を共有・把握していけるよう取り組んでいきます。
F. 事業所の防災・災害対策	近隣の地形により、大雨による土砂災害の発生リスクを考慮した、訓練も合わせて定例の訓練で行える様に計画を進めていきます。また、地域の防災訓練にも積極的に参加していきたいと思えます。	事業所における防災計画（火災・地震・風水害等）は都度見直しや計画の継続を行っていきます。大きな災害が発生した場合においても、事業所が継続できるような体制作りや計画的な行動が明確化され、地域の皆様にも情報がオープンになるような福祉拠点になる事を目指します。	・地域の特性上、津波や土砂災害における防災計画や訓練は今後も継続して行って欲しい。 ・防災備品の備蓄があることが、今回の会議で分かりました。 ・認知症の高齢者を避難する為の訓練には大変さがよくわかりました。	・事業継続計画の訓練、シュミレーションを踏まえ、皆様への報告を行っていきます。その中で発生した課題は、事業所単体で対応を考えるのではなく、委員の皆様のご意見、法人本部等の意見も踏まえ、改善していくよう取り組みを行っていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年11月 6日 (13:45~14:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 安達、鳥嶋、太田、島脇、庭田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	9人	人	人	14人

前回の改善計画	
課題：現状では初回利用時にご本人様の様子や身体状況を記載する様式があり、その用紙に記入することで初回利用時の状況は把握することができている。しかし、初回利用後のご本人様とご家族様の心境の変化や満足度を推し量る為の取り組みがない状況である。	
計画①：初回利用後のフィードバックの場として、午後のミーティングを活用して利用時の情報共有を図っていく。	
計画②：モニタリングの機会を通して、ご家族様から利用後の本人の心身の状況や在宅介護における不安やサービスに対する満足度を聞き取りしていくこととする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
計画①のミーティングの場において、情報共有を図れており、全ての初期支援において同様の対応が継続して実施できている。計画②のモニタリング時における、在宅介護の不安を取り除く為の聞き取りや、サービスに対する満足度調査についてもおおむね実施できたと思う。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	7			13 無回答1
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	10			14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	10			14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	10			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	モニタリングや連絡帳の記載、送迎時のご家族様と会話でやり取り出来ている。そして内容をミーティングにて円滑に報告相談出来ている。 ミーティングでの情報共有は事前情報確認出来ている。 始めの関わりとしては、ミーティングや記録より情報共有はできている。担当の方々には、定期的に満足度を伺い今後の支援に結び付ける事を意識付けている。 アセスメントした事を活用し関わりやケア、情報共有にいかしている。 新規利用様が増えてきており、ミーティング内で初回利用後の様子など情報共有を行えている。 情報の共有では、ミーティングの活用で、不安点の確認は出来ている。 必要な支援では、事前訪問に時間をかけることにより、ある程度の支援は出来ていると感じる。 初回利用時の状況かき込む様式ある為、それに則って行っている。又、記録入力やミーティング時の情報共有出来ている。 ミーティング・個人ファイルでの情報共有出来ている。 初期利用時はアセスメントを記録に残し、情報の声掛け、ミーティングで共有している。 初回利用前の情報共有が確実に行えるよう個人ファイルの閲覧が出来ている。 ミーティング内で事前に確認が必要な情報を話合う事ができている。 初回利用時の本人情報について、全スタッフが確認できるよう記録入力が出来ている。

事前情報はファイルを通して、各自確認し共有できていると思う。  
 慣れていない利用者様には常に声掛けを行っている。  
 送迎時にはご家族から体調確認や変化等を必ず声掛けを行っている。  
 送迎時にはご家族様にこちらの様子を伝え、ご家族様からも家での様子などを必要に応じて情報を共有できるように努める。  
 ミーティング時に情報共有は以前よりは出来ていると思う。新規利用に関わらず、利用者に関して問題が発生した場合、情報共有しなければならない事柄がある時もミーティングを活用して話し合い出来ていると思う。  
 利用者やご家族様のニーズを把握できるように、みんなで話し合いながら、ご家族とも相談し行っていると思う。  
 新規利用者様はもちろん、その他の利用者様ご家族様に関してもミーティングや記録等で利用時の情報共有は出来ていると思う。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>本人、家族、キーパーソンの関係性や互いに課題とするニーズ把握。          初期支援では、生活課題などが次々に発生する期間でもある。その課題に対し、適時対応が困難な場合も見受けられ、対応が後手に回る時がある。          利用者数が増加したことで、個々の利用者への関りの時間は減少傾向にあると推測している。          発生している生活課題が事業所単独だけの解決に向けた取り組みでは達成できない場合も多い為。          利用者支援よりも、業務優先場面（記録、申し送り、私語等も含む）を優先することもあるため。          信頼関係が築けている家族とそうでない家族がいる。          情報共有が足りていない部分があるのではないか。          家族、利用者のニーズ把握は利用開始後、徐々に必要としている支援が見えてくる場合がある。          主に介護者の不安に対して、家族支援の視点に立った関係作りまでは至っていない。          サービス量を増やし家族の負担軽減より、現場業務の負担軽減を考えてしまう時が時折見られてしまう。          専門的視点で家族支援を実行できていない。家族支援の知識や経験が不足している。          新規の利用者の情報が少なく、どうしてほしいのか分からない。          新規の利用者とご家族との情報共有は、お互い慣れるまで時間を要する。          ご家族や利用者様のニーズを把握できていない部分も多々ある。          ご家族様や利用者様との信頼関係が希薄なのではないか？</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>課題：初期支援の体制としては、現状の対応で問題なく支援できていると感じているが、初回利用で気づく追加情報の共有方法やその後の利用でご本人様との関わり方（主に認知症における周辺症状への対応等）に課題が生じる場合が見られた。          計画①：事前情報のみでは、突発的な本人の行動や心理状況には対応しきれない場合を想定し、ご家族様との情報共有はケアマネジャーだけでなく、現場スタッフから積極的に取れるよう当日の担当を決める等の体制を構築していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年11月 7日(13:45~14:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 森越、安達、向井、太田、二宮、庭田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	11人	3人	人	14人

前回の改善計画
課題: 「～したい」の目標を聞き出す為の取り組みや実現に向けた具体的内容の検討にまで進んでいかない現状にある。本人の「想い」とご家族様の「希望」に乖離があった場合でも、その中で「事業所として出来る事」を模索しながらサービスに反映させていきたい。 計画①: 日頃のコミュニケーションの中から、本人の「想い」を引き出していく。 計画②: 「気づき」の記録から、情報共有をして、実現と評価までを一連の流れとしてサービスに組み入れていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
計画①のコミュニケーションから「想い」を引き出すについては、食事や余暇活動等の場面において、「～したい」を引き出し実現することができていた。だが、計画②の「気づき」の記録が少なかった。原因として、現状の業務量では記録入力の時間が作れない事や最低限必要なコミュニケーションに留まってしまっている事を理由に挙げている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		10	4		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		11	3		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		9	5		14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	10	3		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	十分なコミュニケーションを図る時間が持てている為、本人の想いや意見を聞く事が出来ている。 本人の意思に沿った関わりを持つようにしている。 聞き出す事は出来ている。 申し送りやミーティングで情報共有できている。 利用者への関りからの情報共有は出来ている。その情報を元に次回の関り時に注意することは出来ている。 本人の要望が聞かれた際は必要に応じて対応する事が出来ている。又、家族からの要望聞き取りできている。 コミュニケーションを通して本人のしたい事は何か、些細な事でも引き出し希望に添えるようにしている。 想いや気づきは本人との何気ないアプローチで引き出すことが出来ている。 「～したい」を引き出す為の関わりができている。 利用者の希望と家族の希望についてをミーティングで話し合い共有しあえてると思う。 一人でパズルをしている利用者に対して、他の利用者ともコミュニケーションをとりながら一緒にできるように計らうことが出来る。 慣れていない利用者に対して多くのコミュニケーションをとるよう心掛けている。 情報共有できるようミーティングで反映させることができています。 日頃のコミュニケーションの中で利用者個々の想いを引き出す事は出来ていると思う。 普段の気づきからケアプランに組み込む事も出来ていると思う。 ご家族の意向には答えていると思う。

本人、ご家族からの「～したい」との情報があった際は、ミーティングで話し合い極力希望に沿える体制を取れるようにしていると思う。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>認知症の利用者様が増えてきている中で、本人の意思を確認しづらい状況にある。 事業所としてできる事は限られているが、家族様と相談しながらどのような生活を送りたいか、模索しながら探っていく。 ～したいを具体的に記す事で、本人も目標を立てやすい。 考察する時間や整理する時間が足りない。 内容によりけりだが実行に移す事は出来ない事もある。 本人の目標、～したいという視点が日常の関りのなかで意識が低い状態にある。目の前の課題に気を取られ過ぎていくかもしれない。 居宅サービス計画、小規模多機能型居宅介護計画作成時のアセスメントが不足している可能性が高いため。本人の思いが聞かれない、汲みとれない事が多いため、対応出来ているのか難しい所である。 認知症などの症状で本人の想いを組みとる事が難しい。 業務の必要最低限の会話になってしまっている。 業務優先となってしまう一人一人とゆっくり会話する時間が持てていない。 ～したいの具体的な想像が解り得ない場合もある。 認知症や難聴などにより目標やニーズをくみ取れない時もある。 関わりの中での「気づき」の発信ができていない。 業務優先になってしまうことで、必要最低限のコミュニケーションになっている。 最初は出来ているが、時間がたつと対応が戻っている、忘れていく事がある。 意識の問題かと思う。 特に新規利用者に対して十分に情報共有ができていない。 情報共有する為には時間がかかると思う。 本人と家族間の意向がかけ離れているような感じがするため、どれが正解なのか把握する事が難しい。 ご家族様にご利用者様の「～したい」を理解してもらっていない事だと思う。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>課題：「気づき」があっても、記録に残せていない。現状の業務量では、記録に充てる時間の確保が難しいことが課題として挙がっている。 計画①：ミーティング記録を活用して、本人の自己実現に向けたアプローチについての項目を追加する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年11月 8日 (13:45~14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 森越、田辺、泉山、向井、森山、庭田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	7人	2人	14人

前回の改善計画
<p>課題：本人の暮らしを知る為の関わり方や本人を囲む社会資源（インフォーマル）の掘り下げの重要性が低い。「気づき」からのその後の発展の動きが取りにくいと思われる。</p> <p>計画①：「気づき」の情報を元に、担当職員が主体となり「日々のケアで気を付ける事、気になった点」等を月末にまとめて文章化して印刷、ファイリングしておく。翌月に再度評価の為の記録を入力する事とする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>計画①の担当職員が文章化してファイリングするという作業はできなかった。だが、毎日のミーティング記録をまとめて印刷し掲示することで、「利用者サービスに関わる事柄」について、見直す機会を作る事ができた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	4	8		13 無回答 1
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	10	1		14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	9	4		14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	12			14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	11	1		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>ご家族様からの情報や、観察により日々の変化に気付くことができている。また、それを記録の残す事で全職員に申し送り出来ている。</p> <p>個々に合わせたケアは出来ており変化等にも気づき対応している。</p> <p>利用者に合わせたケアは出来ている。変化には気づき職員間での共有も出来ている。</p> <p>職上、生活歴や家族からの意見を聞く事が出来る環境にある。</p> <p>本人の状態に合わせた支援行い事が出来ている。又、ミーティングの場で話し合う事が出来ている。</p> <p>本人が無理をしない程度に残存機能を活かした介助が出来ていると思う。</p> <p>個々に合わせたケアは出来ており変化に合わせ支援を行っている。</p> <p>基本的なケアについては、本人の状況に合わせた内容になっている。</p> <p>認知症の周辺症状への対応として、情報共有ができている。</p> <p>朝の迎え時の様子をすぐに出勤者に伝達することで、即時対応ができている。</p> <p>利用者の変化があった際は口頭や記録にて相談しあい対応出来ていると思う。</p> <p>本人が不安な時は傾聴し会話をするようにしている。</p> <p>変化等があった場合は、職員に相談し、自分だけの判断はしないようにしている。</p> <p>体調やその日の身体状況を見て職員間で共有し対応している。</p> <p>日々の変化に対して、気づいたことは共有し、早急に対応するように気を付けている。</p> <p>個人に合わせたケアはきちんとされていると思う。</p> <p>本人の目に見える様々な変化には気づき、急を要する際はその都度口頭で行いその後記録に残し、情報共有</p>

出来ていると思う。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

気づきはあるがそれに対しての具体的なケアの対応策が出来ていない。  
日々のケアで気を付ける事、気になった点等を文章化しファイリングするとなっているが出来ていなかった。  
利用者への直接的な支援はあまり出来ていない。業務時間の効率化、分担が出ていない。  
以前の暮らしなどの詳細情報の共有。  
どうしても喫緊の課題を優先してしまい、以前の暮らしなどの情報を後にしてしまう傾向がある。  
その人の過去を知らない部分がある。  
コミュニケーションが少ない。  
①の把握③言語化はあまりできていない。  
日々の業務で深い関りが取りにくい時もある。  
「声にならない声」の抽出ができていない。  
業務優先になってしまい、最低限のケアを行う事が優先されている為。  
以前の暮らし、どう過ごしたのか把握ができてない。  
その日のしのぎ対応をしているようだ。  
知ろうとする姿勢や、コミュニケーション不足。  
一日何事もなければそれでいいという考え方がみられる。  
何回かは気づきの情報を元にA3で一覧として出していたが、翌月の評価の為の記録としては入力していなかったと思う。  
申し送りに等で全員が共有出来ていることが理想だが、現実には把握できていない事が多すぎる。  
情報を共有できる体制に問題があるのではないか？改善点が必要と思われる。  
ひとりひとりの「以前の暮らし」10個以上は、把握しきれない現状にあると思う。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

課題：「以前の暮らし方」の把握が全ての利用者にてできていない。「気づき」の情報量が少なく、自宅での過ごし方についての把握が出来ていない利用者が多い見られた。  
計画①「気づき」の記録を月末にまとめて掲示。プラン作成時に反映できるようケアマネジャーとの情報共有ができるよう体制構築していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年11月 9日 (13:45~14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 森越、泉山、森山、太田、船渡、向井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	6人	1人	14人

前回の改善計画	
<p>課題：契約時の情報だけでは、ご本人の想いを知り得るには足りず支援が画一的になってしまう。            計画①：初回の契約時の情報から、さらに掘り下げるべき情報（特に地域資源に係るもの）をまとめて、適宜、聞き取りを実施していく。また、地域との関わりで成功した実践例を知って頂く為の、広報誌の回覧も検討していく。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<p>計画①の広報誌の回覧は実現には至らず、地域との関わりについてはコロナ禍の影響が以前強い現状である。だが、徐々にではあるが地域との関わりが回復しつつある為、今後は事業所発信で地域との関わりを積極的に行う必要があると感じている。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		9	5		14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		10	4		14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		8	6		14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		7	7		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>これまでの生活歴などはコミュニケーションを図る事によって情報を得られている。おりあいの活動を広報を通じて知ってもらえている。            クレーム等あった際はその都度話し合いを持ち問題を最小限に抑える様な対応は出来ていると思う。            ご家族やご本人から少しずつ聞き出すことで知る事が出来、信頼関係が気づける。            地域との関わりでは、アセスメント上、必要な方への支援として、繋ぎの役割は行えていると思う。            利用が無い日の関りとして、状況に応じ電話連絡などの支援を行えている。            本人の生活リズムやスタイル、人間関係など理解し支援行う事が出来ている。            なるべく以前の暮らしを継続出来るような支援が出来ている。            これまでの情報は本人とのコミュニケーションで知り得る事が出来ている。            家族情報はモニタリングや送迎時の情報を申し送りして把握している。            以前の暮らしが継続できるように、要望に応じて検討および実践ができる体制にある。            地域の方から利用者の相談等も連絡くることもある為、地域や利用者の生活環境に応じ対応出来ている。            情報はミーティングで共有できるようにしている。            地域との関りが持てるように、希望があれば積極的にお知らせしている。            本人の生活スタイル、人間関係等は理解し支援出来ていると思う。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>地域との関わりをもつため、おりあいでの活動内容の幅を拡げる必要がある。            地域行事への参加ができていない。            地域との関係性が切れない支援。地域からの本人に対する意識もある。以前の暮らしから、関りのある地域住民は必然として声を掛けてくれるが、地域との関係性が薄い人達を繋げていくのは困難である。</p>

ケアマネの動き、業務量を考慮しても、地域との関わり、つなぎ役としての時間を思うようにとることが出来ない。

地域の資源や民生委員の把握があまり出来ていなく活用も出来ていないと感じます。

コロナの影響がまだある事や利用者にどのような資源があっているのか分からないため。

地域資源の活用。

地域と関わる機会の減少。

コロナ禍等により、地域活動があまり出来ていない。

地域行事は開催される様になっては来ているが、感染予防等で参加が難しい。

地域への働きかけの不足や機会の減少が原因だと思われる。

民生委員を知らない。

自宅での過ごし方が把握できてない。

情報収集が不足

家族が民生委員とかかわりが出来ているのかが分からない。

家族以外の情報を得ることが難しい。

ご本人様やご家族様が、地域との関りの必要性を解かしてもらえていない。

地域への情報発信がうまく出来ていない。

本人または家族に必要な地域の資源の把握が出来ていない状況にあると思う。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

課題：いまだコロナの影響が大きく、地域との交流の少なさを実感している。

計画①：運営推進会議等の場を利用して、地域への発信量を増やしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月11日(13:45~14:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 橋本、泉山、島脇、向井、庭田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	10人	人	14人

前回の改善計画	課題：地域資源の活用が不十分であることから、まずは情報収集の為の取り組みから見直す必要がある。 計画①：地域資源の活用の為の第1歩として、日頃活用している商店や関連する施設への挨拶やコミュニケーションを図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域でお世話になっているスーパーや床屋などには、利用時に挨拶程度のコミュニケーションは取っていますが、そこから直接的に地域資源としての利活用には至っていない。事業所からの積極的なアプローチが不足しているのを感じている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3	10	1	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	9			14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	11			14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	10			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ご家族様の就業や都合、利用者様の状態によって柔軟に通い・宿泊サービスを行う事が出来ている。日々の状態、ニーズに合わせた対応が出来ていると思う。</p> <p>日々変わるニーズに合わせた対応が迅速に行えている。</p> <p>支援の柔軟さ、対応は、適時相談しながらの支援が出来ている。</p> <p>本人や家族の状態、ニーズに合わせて支援の提供出来ている。必要時には通い追加や連泊提案・提供している。</p> <p>利用者に関わっていく中での気づきを家族やミーティングの場で共有出来ている。</p> <p>利用者、家族からの要望に応じた支援が出来ている。</p> <p>状態や本人の意向でニーズに沿った支援が出来ていると思う。</p> <p>その日利用者さんやご家族からのニーズに対しての支援はできている。</p> <p>独居の利用者の体調不良の際の宿泊や受診対応できている。</p> <p>体調や顔色をうかがい傾聴や会話ができています。</p> <p>その日の体調がよくない場合は家族に連絡を取り宿泊対応ができています。</p> <p>ニーズに合わせて対応を行っている。</p> <p>ご本人様の変化に対して、話し合い、早急に対応するようにしている。</p> <p>本人のニーズに合わせた柔軟な対応、変化への気づきを共有し日頃支援出来ていると思う。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>おりあい介入しすぎている部分が多くなっている為、地域資源との関わりが少なくなっている。</p> <p>地域資源の活用</p> <p>調理の買い物等でマエダストアの店員さんとは関わりがあるが、その他の施設等とは関わりが無い為。</p> <p>考え方が閉鎖的になってしまう事が多い。他関係機関への相談を行っていても、関わってもらうのに時間を</p>	

要すること等が多い。

関係機関への情報提供から、時間を要してしまう。日常的なアセスメント、課題発生に備えた動きを取る事ができていないため。

地域の資源を使って支援出来ていないと感じる。

地域資源にどのような物があるのか、どう活用したらいいのかわかっていない。

地域資源の活用

地域との関わりが減少している。

地域資源の度合いが分かりにくい。

地域資源の掘り下げや事業所からの働きかけが弱い部分にある。

まだコロナの影響で地域での交流が出来てない。

感染予防の為

情報収集が出来ていない。

地域資源の活用方法が把握できていない。

地域資源の活用は出来ていないと思う。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

課題：地域資源の把握及び実用的な計画がなく、コロナ禍以前のような関りがいまだ回復せずにいる現状である。

計画①：地域との関わり方について、待っているのではなく、事業所から積極的にアプローチを行っていく。具体的な行動として、年間の計画を立てることや行事担当が主になって行事として関わっていけるよう検討を行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月13日(13:45~14:00)

6. 連携・協働

メンバー 泉山、安達、二宮、庭田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10人	4人	人	14人

前回の改善計画
課題:地域イベントが減少してくなかで、事業所のアピールができる方法を模索していかなければならない。 計画①:地域イベントへの参加を年間計画として、行事担当者が主になって、計画していく。事業所をアピールできる場があれば、パンフレットや事業所紹介の資料を作成していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
計画①のパンフレットや事業所紹介のパンフレット作成には至っていない。事業所開設当初から使っているパンフレット等の回覧や地域商店等に置かせていただけるような働きかけは継続して行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	9	4		14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	8	3	2	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	6	3	3	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2	5	7	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>地域イベントはコロナの余波があり参加出来なかったが、おりあいの行事の取り組み出来ておりその様子の資料作成できている。おりあいのパンフレットを地域の了承頂いた店舗に置かせて頂き、アピールできている。</p> <p>運営推進会議などで話し、資料を配布することで活動などがわかる。</p> <p>コロナが落ち着いてきた為、地域のイベント等にも参加出来るようになってきた。10月の鮫公民館での文化祭にて作品の展示行っている。</p> <p>サービス担当者会議開催、個別ケア会議参加、地区自主防災訓練等への参加は適時参加、開催する事ができている。</p> <p>主任対応で会議等参加されていると思います。</p> <p>関係機関の会議には参加していると思う。</p> <p>関係機関との連絡は取れている。</p> <p>少しずつコロナの影響も落ち着きイベントや活動が戻ってきており鮫公民館の文化祭にも出展し地域の関りが戻りつつある状況。</p> <p>地域の行事等に参加し、情報等は得ている。</p> <p>コロナの影響でも新規の相談や利用につながっている。</p> <p>コロナが落ち着いてきた状況で、模索しながらではあるが少しずつ、活動の場を広げるように努力している。</p> <p>自治体や地域包括支援センター、サービス機関との会議には管理者が参加している。</p> <p>地域イベント(鮫公民館文化祭)のお誘いがあり、展示物を出品し参加する事が出来た。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>地域のイベント等はコロナ禍の為、参加しにくい現状である。</p> <p>コロナ感染の危険性を考えると以前のような行動が出来ていない。</p>

登録者以外の高齢者、子供の来所は殆ど出来ていない。介護相談があれば、直接訪れる事はある。感染症のリスクもあるが、そもそも、高齢者やこどもが気軽に訪ねて来るような取り組みが出来ていない。コロナの影響もあり、登録者以外の高齢者や子供は事業所を訪れる事はないです。

コロナの影響が大きい  
 地域イベントへの参加  
 天候や当日利用者、職員人数

④業者以外訪れる機会を計画出来ていない。  
 感染の危険性を考えるとコロナ禍以前の行動が出来ていない。  
 地域における事業所理解が低く、地域の福祉拠点としての役割を十分に果たしていない。  
 地域への広報活動ができていない。  
 まだコロナやインフルエンザ等もあり気軽に来れる環境には戻っていない環境の為。  
 コロナの影響もあるが、地域との関わりが少ない状況為。  
 コロナ禍で保育園や地域の方が行事に来ていただけない。  
 おりあい知らない住民が多いと思う。  
 コロナ禍で地域との交流が難しい。  
 鮫公民会の文化祭には作品を展示したが、それ以外は特に地域イベントへ参加できなかった。  
 イベント等がコロナ以前に戻っていない為。  
 感染に気をつけながらの活動になってしまうため、慎重に成らざるおえない。  
 地域住民が訪れるメリットがない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

課題：地域イベントの参加がコロナ禍以前にまで回復せずに、事業所からのアプローチも減少している現状にある。必要な介護サービスの提供で業務を行っており、人員を割けるほど充足されていない事も原因に挙げられる。

計画①：地域イベントへの参加を行事として計画していく。主担当を決め、年間の計画を立てていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月13日(13:45~14:00)

7. 運営

メンバー 森山、安達、二宮、庭田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	11人	3人	人	14人

**前回の改善計画**  
 課題：事業所の方針として、常にブレずに、誠実にサービスを提供できるだけのマンパワーが不足しているのを実感している。  
 計画①：サービスを提供する側の人間として、福祉従事者として必要な高い倫理性について、一人ひとりに聞いていく事も必要だが、まずは目の前の利用者および家族への態度や姿勢を見直し、相手の立場に立った言動ができるよう指導していく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 計画①の実践について、基本となる相手の立場に立った言動、行動が求められていたが、業務都合を優先してしまう場面もあるなど、反省点も多く見受けられた現状であった。利用者本位の支援実践のため、継続して自分自身のケアを客観的に見直すよう、職員がお互いに日々声をかけていけるように努力している現状にある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	9	3		14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	12			14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	11		1	14
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	8	1	14

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 おりあいはどこですか?と急な見学もあったが受け入れできている。運営推進会議も開催できており、運営に反映できている。  
 苦情、クレームはその都度対応している。  
 様々な意見に対応できるよう努めている。  
 家族からの苦情や要望には可能な限り対応を行っている。  
 利用者、家族、地域からの意見苦情の反映できています。  
 家族からの意見を反映出来るよう、事業所内でも意見の出し合いが行われている。  
 利用者、家族からの苦情、意見は都度、検討対応できている。  
 苦情や意見に対しての検討は即時対応し、サービスに活かす事ができている。  
 クレームや意見があった際はクレーム表やミーティングにて共有し、対応していると思う。  
 家族からの意見・苦情・相談等の対応はできている。  
 地域からの苦情等があれば即対応を行っていると思う。  
 ご本人様やご家族のお話は真摯に受け止め、理解できるように努力している。  
 本人、ご家族からの様々な意見を真摯に受け止め支援に繋ぐことが出来ていると思う。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 おりあい利用時の要望だけを強く言っは家族様も遺憾に思ってしまう為、まずご自宅での介護負担をお聞きし理解した上で提案という形で話し掛けをしなければならないと思う。

利用者様やご家族様への態度や姿勢について不適切な言動等たまに見られている場面があるのではないか。利用者からの意見や苦情、要望に関しては、その意見が聞かれた際、どのような判断をしているか不明瞭な部分はあると感じている

現場の忙しさやこのくらいは・・・という価値観も多いと思われる。出来る出来ないにかかわらず、声を共有することが必要である

地域と協働した取り組みがなされていない。

地域との関わりが少なくなっている。

④地域との交流や繋がりが薄れているように思われる。

おりあいとしての明確な行動指針はあるが、自分勝手な行動や判断でケアしている部分がある。

やってはいけない事がなぜだめなのか？頭ではわかっているが「これくらい」ですませているように見える。積極的に地域との関りあいが取れていない。

コロナで関わりが減って以降、中々戻っていない為。

どう再開していいかわからない状況。

コロナ禍で地域との交流が思うように出来てない。

以前よりは個々で態度や姿勢を見直していると思うが、まだまだだと思う。利用者、家族だけでなく、職員同士のやりとりでも相手の立場に立ってとか、これを言うと相手はどう思うのか等考えた方がいいと思う。

利用者やご家族様の伝えたいことを、きちんと受け止めていない事が多々あった。

コミュニケーションの取り方（時間や場所等）が適切に取れなかった事も原因の一つだと思う。

相手の立場に立った言動については、まだ改善が必要と思われる。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

課題：地域に開かれた福祉施設としてのアプローチの方法や場の検討があまり出来ていない状況にある。地域に向けての事業所からの介護事業所としての啓発活動も必要である。

計画①：近隣住民へのアプローチとして、ゴミ拾いや除雪作業などを行ってみる。

計画②：地域（商店等）に対して、パンフレットの配布や小規模多機能型居宅介護の案内を配布し、相談がしやすい環境を整えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月14日(13:45~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 泉山、田辺、橋本、安達、島脇

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	7人	7人	人	14人

**前回の改善計画**

課題：出来ていない事をそのままにしている現状では、いつか大きな事故や損害が生じる可能性が大いにあることを一人ひとりが意識して自己啓発に取り組む必要があると思う。

計画①：まずは「ダメな事をダメ」と注意し合える環境作り。相手への伝わり方を知る事。

②他事業所の情報を各自で取得（方法はサービス公表等）し、情報の共有を図っていく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**

計画①の注意し合える環境作りは、できる人とできない人の差で日によっては「慣れ合い」がみられる。計画②の他事業所の情報を知る事については、ほとんどのスタッフができておらず、サービス公表の資料作成に携わる職員のみ把握できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1	11	1	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		8	4	2	14
③	地域連絡会に参加していますか	2	4	4	4	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		13		1	14

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

苦情やアクシデントがあった際には振り返りし、再予防のために話し合いが持てている。アクシデントが発生した際は、自分の事とし受け止め考える事とし、再発防止に努める。研修等の体制は出来ている。ジョブメドレーの研修実施出来ています。十分に出来ているとは言えないが、リスク管理も出来ています。ジョブメドレーでのオンライン研修参加。PC研修が導入され実施できている。ウェブ研修に取り組む事ができている。委員会が主体になりリスクマネジメント対策に取り組んでいる。職場内の研修はウェブで行えている。事業所内研修ができ、取り組んでいる。計画①に関しては出来ている人と出来ていない人がいる。ヒヤリハット等気になることは、そのままにせず対応するようにしている。必要とあれば、みんなで共有できるようにしている。オンラインでの研修を受ける事が出来ている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

職員同士の信頼関係が出来ていないのでは？スキルアップ、資格取得のための外部研修への参加。注意しあえる環境作りが出来ていない現状である。職員個々が望む研修には参加させることが出来ていないと感じている。リスクマネジメントでは、その場だけの対応が主となっており、継続性がないと感じている。

伝えたとところで直らないと思って出来ていない為。

人員不足、利用者の過サービスによる現場業務の圧迫が著名であるため。

課題への対応策に対して、共通理解が不足していること、職員個々のリスクに対する価値観、感じ方が異なること。

出来ていなくはないが、十分かと言われると不足な部分がある為、より詰めて考えていければと思います。外部研修への参加。

人員基準による時間の確保の為。

資格取得の研修には参加できていない。

自分たちのサービスの質を客観的視点で見ることができない。

外部の人や第三者からの評価の機会が全くなくなってしまった。

資格やスキルアップ。

コロナ禍で思うように研修等に参加が出来ない。

注意したことによる、人間関係を考え躊躇してしまう。

注意をした場合に素直に聞いてもらえず、気まずい雰囲気になっている。言われるのは確かに嫌なものだが、指摘されるのには理由がある事を考えることが出来ていないと思う。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

課題：ジョブメドレー（ウェブ研修）が主な研修の場となり、簡単に動画を視聴しながら勉強できる体制になったが、質の向上に繋がるような意見を述べる場が減っている。

計画①：外部研修に参加したスタッフは、職員周知の為に、内部研修を計画・実践していく。また、研修動画で参考になった物に関しては、業務への取入れが可能かを踏まえ、会議にて検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 15 日 ( 13:50 ~ 14:15 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 田辺、鳥嶋、船渡、太田、森越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	7人	2人	14人

**前回の改善計画**

課題：職員個々の接遇に対する価値観の相違、ご利用者への接遇面で不十分な点がある。再度、接遇での注意点、認知症支援の学習をすすめる必要がある。

計画①：認知症介護の再学習を実践。行うべきコミュニケーション方法を明確化し、不適切ケアに該当する具体例を交え、このような場合は、このように対応するといった「あるべき姿」の可視化、職員間での共有を図り、職員全体で接遇面での向上を図る。

\*月1回（第3火曜日）を接遇面での評価日として設定し、接遇に対しての意見交換を実施する。

**前回の改善計画に対する取組み結果**

認知症介護の学習では、ジョブメドレーでの学習を進めているが、実践的な課題、現場での接遇、不適切ケア防止にかかる動きは取れていなかった。発生した課題に対しては、具体的な対応策を検討、実践しているも、接遇課題に対しての検討は少ない状況であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	6			14
②	虐待は行われていない	4	9	1		14
③	プライバシーが守られている	3	8	3		14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	9	2		13 無回答 1
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	8	1		14

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

拘束・虐待は行われていない。  
 プライバシーは守られている。  
 身体拘束、高齢者虐待、プライバシー保護、成年後見制度への法的理解、制度目的等の理解は出来ている。  
 身体拘束や虐待防止委員会の設立行っている所であるため、来年度へ向け動く事が出来ている。  
 身体拘束は行っていない。  
 個人情報管理はできている。  
 法的な違反行為はしていない。  
 身体拘束、虐待は行われる事なく、プライバシーも守る事が出来ていると思う。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

接遇面での向上はされていないと思う。  
 職員もなれ合いが出来てしまっている。  
 今日1日を楽しんで帰ってもらいたいという意識が職員に不足している。  
 身体拘束は、利用者の行動を制限することもあたる。ケガや危険を予測しての事だと思うが、予測ができたら付き添いを行うなど、利用者に納得して頂く様声掛けをすることが必要だと思う。  
 利用者に笑顔で帰って頂きたいと思う気持ちが薄い。

月1回接遇に対しての意見交換出来ていない為。

接遇面での課題は多く、業務優先してしまい、本来、会話をすべきところを出来ずにいたり、反省点は多い。ゆとりを持った業務遂行ではないため。突発的な課題が発生しやすい環境下であり、その際の判断や指示に問題がある。能力の不足も相まっていると感じている。

グレーゾーンのケアが見られる。改善していく必要がある。

職員個々の意識の問題。就業規則の理解不足。

利用者への言葉遣い。

1人ひとりの意識。

接遇、言葉での不適切ケア。

その時々感情が抑制できない場合もあると思う。

メンタルヘルスの知識が低く、感情コントロールができていない。

権利擁護の知識が希薄。

慣れ合いがあり、お互い注意し合えない。

プライバシーについて、個人差があり大きな声で排泄の有無について話したりしている場面がある。

職場内の意識の問題。

利用者に対しても職員に対しても命令口調でいう場面もある。

自覚が足りてない。

相手の立場になって考えてないから。

今後も認知症介護は必要な為、行うべき。不適切ケアが無いわけではない為、実際に実施出来るように対応は必要だと思う。

一生懸命になりすぎて、周りを見る余裕がなかった事は否定できない。

落ち着いた行動であれば対処できるものが多いと思う。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

課題：夜勤中など、何度伝えても理解が難しい方に対し、声が大きくなってしまったりしてしまう。また、認知症の方と接する際、感情がうまくコントロールできず、表情や言動に出てしまうこともある。

計画① ケア中の不安や悩みをミーティングや会議で話し合い、他職員の対応を共有すること、ケア内容を統一することで、ストレスの軽減、自身でセルフコントロールできるように配慮していく。

補足として、研修会等を通して、コミュニケーション、ストレスマネジメント、セルフコントロールに関して等の理解を深めていく。